

# 広報 しばた



鮮やかに咲き誇るしばたの桜

人々の心を癒し、人々を笑顔にする絶景がここにあります

今年、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。日本人のメダルラッシュを期待するのはもちろんですが、今回は特にこの3年間ホストタウンとして交流を重ねてきた、ベラルーシ共和国新体操ナショナルチームの皆さんの活躍も楽しみであり、メダルが獲得できるよう精一杯応援したいと思っています。

さて、今年の景気の動向ですが、年度初めから9月まではオリンピック景気に沸くものの、東京オリンピック・パラリンピックが終わった後の将来予測は、明暗が分かれていました。しかし、新型コロナウイルスの発生により、不安のまん延や経済活動への影響から先行きが見通せなくなってきました。

それでも、新型コロナウイルスを抑え込めばオリンピックが終わっても、少なくとも2030年までは、今以上に東京は発展し続け

ていくという予測です。その理由は、東京で進行する超高層ビル群の開発プロジェクトや2027年のリニア中央新幹線の開業などを控えているからです。

さらに、国はIoTやAI、ドローン、ロボットなどの最新のテクノロジの活用によって、一人一人が快適に暮らせる社会の実現を目指したソサエティ5.0(超スマート社会)をわが国の未来社会の姿として提唱しています。

一方、暗いシナリオとしては、今後さらに、新型コロナウイルスがまん延すれば観光客は来なくなり、景気が一気に冷え込んでしまうことが懸念されています。

また、若い世代の雇用や生活が不安定化しているため、そのことが未婚や晩婚化の背景となり、2019年の出生数が87万人を下回る見込みとなっています。

このように、わが国は人口

## 令和2年度施政方針

持続可能なまちづくりをさらに加速させ、  
新たな戦略で次のステージへ向かう

柴田町長 滝 口 茂

減少や東京一極集中に歯止めがかからない状況にあります。

特に地方においては、急激な人口減少や高齢化の進展によって、地域の病院や公共交通事業の経営が悪化し、いずれも存立の危機に直面しています。また、社会インフラや公共施設の老朽化や劣化が著しくなっています。

残念ながらそのリスクを回避するための財源確保が見通せないのが実情です。

さらに、地域経済も低迷したままであり、まさに地方は瀕死の状態におかれています。

そうした二つの潮流が混在するわが国ですが、一方、世界に目を転ずれば、持続可能な世界の実現を目指し、世界共通の目標としてSDGs(持続可能な開発目標)が提唱されました。

2030年までに、先進国も発展途上国も、国も企業もNPOも、そして個人も、あら

ゆる垣根を乗り越えて、より良い未来をつくるために17個の目標(ゴール)が国連サミットで採択されました。そこには、地球環境時代におけるグローバルなレベルや国レベル、そして地方レベルにおける倫理規範が示されています。

地方自治体においても、住民が安心して暮らせる持続可能なまちづくりや地域活性化に向け、住民、事業者、行政などが一体となつて取り組む、自治体SDGsの推進が求められています。

柴田町においても、平成27年に「柴田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を作成し、持続可能なまちづくりにチャレンジしてきました。

柴田町民のアイデンティティである白石川堤一目千本桜や船岡城址公園を世界に開かれた花見の名所にするため、国内外への情報発信やプロモーション活動を展開してきた結果、昨年の

桜まつりにおいては、東南アジアはもとより、ヨーロッパ各国から7600人を超える外国人観光客が訪れました。

さらに、これまで国の交付金などを有効に活用しながら、観光まちづくりやシティプロモーションを進めてきたことで、柴田町の知名度が一段と高まり、柴田町を応援していただいている「ふるさと納税」が、今年1月31日現在で約6億4000万円となっており、

平成30年度の1年間に寄附を受けた総額2億344万円を大幅に超えております。観光を切り口とした主体的で独自の「柴田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」

は、自ら外貨を稼ぐ力を生み出すなど、柴田町の持続的なまちづくりに好影響をもたらしました。

こうした勢いをさらに加速させるため、令和2年度におきましては、ソサエティ5・0の実現やSDGs

の達成といった新たな国内外の取組を見据えた中で、次期「柴田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、柴田町の次のステージに向けた新たな戦略のもとで、地方創生の取組を強化してまいります。

### 戦略1

**誰もが安全・安心に住み続けられるまちづくり**

風水害や地震などの自然災害への備えとして、ハード面、ソフト面からの対策をさらに強化してまいります。

昨年の10月12日から13日にかけて通過した令和元年台風第19号がもたらしたような短時間で記録的な豪雨は、地球の温暖化による異常気象によって、今後も頻繁に発生することを覚悟しなければなりません。

現在、国では「防災・減



災、国土強靱化のための3か年緊急対策」を決定し、自然災害による被害の防止、最小化を図るため、160項目の緊急対策を実施しています。

本町においても、柴田町国土強靱化地域計画を策定するための雨水対策の調査を実施するとともに、河川の浚渫や大型の排水ポンプ車の購入、常設ポンプの増設、局地冠水地区の調査などによって雨水被害の軽減を図ってまいります。

一方で、堤防、排水機場などの防災施設、いわゆるハード面を整備しても災害を防ぐには、おのずと限界があることを私たちは認識する必要があります。

今後の気候変動による水害に対しては、「自分の命は自分で守るといった意識を持つて、自発的に避難行動を取ることが大切であり、行政は、それを全力で支援する」といった水防災意識の向上を図っていかなければ

なりません。

そのため、ソフト面での対策として、防災行政無線のデジタル化を始め、防災指導員の育成や水防災意識向上マニュアルの作成、さらに防災マップを活用したマイ・タイムラインの普及を図るなど、家庭や地域での防災力の向上による減災につなげてまいります。また、消防団員の消防技術の向上と士気の高揚を図るため、8月に柴田町で開催される第51回宮城県消防操法大会を支援してまいります。次に、人生100年時代を迎えて誰もが健康で安心して暮らせるまちづくりで

年を重ねて要介護状態となったとしても、できるだけ住み慣れた地域で暮らしたいけるよう、医療・介護、住まい、生活支援、介護予防のサービスを一体的に提供するための地域包括ケアシステムの構築をさらに推進してまいります。

町民の健康寿命の延伸については、健康まつり、からだ測定会、柴田町医師団や仙台大学などの関係機関と連携した運動教室や介護予防などを通じて、健康増進をサポートするほか、地域の見守りや生活サポートなど生活援助にも取り組みます。

また、大きな社会問題となっている引きこもる若者や障がいのある子を持つ親の高齢化による生活問題、ひとり暮らし高齢者などの権利擁護のため、社会福祉士の資格を持つ相談員を配置し、相談支援体制の整備と市民後見人制度などの推進を図ります。

なお、地域医療構想の実現に向けた重点支援区域に仙南二次医療圏のみやぎ県南中核病院と公立刈田総合病院が選定されたことから、地域医療を安定的に確保していくために、不足する医療機能や役割について議論する県主催の地域医療構想

調整会議の行方を注視してまいります。

## 戦略2 新たな にぎわい交流拠点 の整備

安全に住み続けられるまちをベースに、東船岡駅にアクセスできるエリアに、新たな生活拠点を整備する構想が立地適正化計画です。

このエリアにはすでに居住施設、商業施設や医療・福祉施設が立地しており、さらに、新たな金融機関の誘致やスポーツ交流施設としての総合体育館などの都市機能を充実させ、公共交通との一体化を図る中で、コンパクトプラスネットワーク型の新市街地を形成してまいります。

新市街地の形成に際しては、しっかりとしたランドスケープデザインに基づき、四季折々に美しい花が咲く



街路や歩道、雑木林に囲まれた中でさまざまなイベントが開催される公園や広場、さらに街の活動の拠点となる交流施設を有機的に結び、歩くことが楽しい街並みづくりを進めてまいります。

なお、総合体育館建設予定地につきましては、今回、自衛隊に造成工事を委託して実施いたします。

具体的な計画の推進に当たっては、住民、企業、NPQ、行政など多様な主体とのパートナーシップのもとに、まち中のにぎわいづくりや地域経済の活性化、美しい景観の創造を目指し、協働で取り組んでまいります。

また、まち全体が花回廊で結ばれるよう白石川千桜公園や桜の小径、太陽の村といった交流拠点、街路や公園、さらに、スイセンロード、彼岸花ロードなどをミニガーデンやグリーンインフラでつなぎ、ガーデンツーリズムやフットパス、

里山ハイキングなどを通じて、歩いて楽しい街並みや農村空間を整備してまいります。

今年は、公共スペースの残地を活用し、四季を通じて花が楽しめるように、まち中景観形成事業を実施するとともに、快適で魅力的なまちとなるよう公共スペースを活用した植栽活動を行うとともに、船岡城址公園や桜の小径に展望デッキやトイレを整備します。

## 戦略3 インバウンドを 見据えた 広域観光の推進

国や県では、観光を21世紀の基幹産業として位置づけ、積極的に政策を展開しています。

まず、国においては、観光産業のイノベーションを通じて国際競争力を高め、海外に向けた日本のブラン

ド力を向上し、地方への誘客を強化していく方針です。県においても、東北が一体となった広域観光の充実や外国人観光客の誘客プロジェクトを通じた観光産業の振興を「富県共創戦略」の大きな柱に位置づけています。

また、全国の自治体においても、地方創生の柱として、観光まちづくりに力を注いだ結果、特に、先進自治体においては、まち中に

にぎわいを取り戻すとともに、若い人たちが起業し、移住定住に結びつく事例も増えています。

柴田町においても、2市9町で構成する「みやぎ蔵王ハーモニー花回廊推進協議会」と連携しながら、みやぎ蔵王を背景とした花風景や里山ガーデン、温泉、歴史、文化、グルメなどの観光資源を巡る多様な広域周遊ルートの設定やガーデンツーリズム受入環境整備事業などを通じ、国内外に

おける県南エリアの認知度の向上と交流人口やつながり人口の拡大を目指すための、ガーデンツーリズムを強力に展開してまいります。観光まちづくりの推進は、住民に快適な生活環境の提供や魅力的な地域の再発見をもたらずだけでなく、地域への愛着や誇りの醸成、若者の移住定住につながる

ことができます。また、柴田町の知名度が高まることよって、柴田町を応援していただく「つながり人口」が増え、更なる「ふるさと納税」による寄附の増加が期待できます。

全国の多くの方々から応援いただいたご寄附を活用させていただきます。大型プロジェクトの推進や住民サービスの拡充につなげてまいります。



#### 戦略4

### 子どもたちの未来を拓くまちづくり

子どもたちが安全で快適な学校環境で学べるよう、

全教室へのエアコンの設置やトイレの洋式化を進めてまいりました。今後も小学校の大規模改造事業や、小学校プールの耐震補強を実施するとともに、各中学校の要望に沿ったきめ細やかな整備を進め、子どもたちの学習環境の改善に努めてまいります。

児童生徒の「学力向上」に向けた取組については、昨年度から導入した「柴田町学力調査」の結果を生かして、児童生徒のつまづきを把握し、指導方法の改善を行うなど、各学校で学力向上策を具体的に策定するとともに、その取組を支援するため、新たに「教育専門員」を教育委員会に配置

し、なお一層の学力向上に取り組んでまいります。また、「放課後学習室」や教員を志す仙台大学生に小学校の授業などの学習活動を支援してもらう「未来先生事業」も継続して進めてまいります。

不登校問題については、不登校児童生徒の出現率が高止まりしている状況にあり、憂慮すべき事態であることから、教室で支援を必要とする子どもたちを支援する「特別支援教育支援員」を5人増員し、23人を各学校に配置します。さらに「柴田町子どもの心のケアハウス」を核として、学校、

自立支援相談員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、関係機関が連携して子どもの心のケアに努め、不登校児童生徒数の減少を目指してまいります。また、昨年度から小学校と中学校が連携して、新たな不登校児童生徒を生まな

いことを目指して取り組んでいる「みやぎ行きたくなる学校づくり推進事業」の一層の推進を図ってまいります。

いじめ問題については、引き続き、全ての小中学校が「いじめ見のがしゼロ運動」に取り組み、家庭や地域と連携しながら、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めてまいります。

外国語教育については、小中学校に外国語指導助手（ALT）を4人配置し、英語で柴田町の良さについて情報発信できるSAKURA PROJECT、放課後英語楽交、JOV活動の取組を推進し、英語学習の拡充に努めてまいります。

子育て支援の強化に關しましては、今年4月に東船岡地区に本町では初めての私立保育所が開所します。で、保育所等利用待機児童の解消が図られます。さらに、保育を必要とする人たちのニーズに応え、安心し

て子どもを産み育てることができるよう、子育て環境の整備に努めるとともに、児童福祉施設については、公共施設等総合管理計画に基づき、民営化に向けた調査・検討を開始してまいります。

また、スマートフォンやパソコンで子育て情報を入手できる子育てアプリを提供して、子育てに関する行政サービスや各種制度等のきめ細やかな情報を発信して、新たなコミュニケーションの機会を増やし、子育て家庭の不安や孤独を解消してまいります。

## 戦略5

### 都市と農村との共生社会の実現

これからも柴田町が持続的に発展していくためには、農業の振興や農村の活性化が重要です。



まず、農業生産基盤の強化に向けて、中名生・下名生地区、葉坂地区の2カ所のほ場整備に加え、富沢・上川名地区での事業採択申請、入間田地区や船迫地区での事業計画や営農構想の取りまとめを行ってまいります。

さらに、日本の原風景とも言われる美しい農村や里山で、地域の資源や先人たちから受け継いだ伝統文化を活用した新たな生業づくり、里山ビジネスの起業化を通じて、内発的な地域づくりに努めます。

その担い手として、最近の田園回帰の流れを生かし、農山村への関心を持つ若者や多様な移住者を増やす必要があると考えております。特に、これまで培ってきた都会的なセンスやスキル、ネットワークを生かして、農業農村の活性化に情熱と意欲を燃やす地域おこし協力隊員を増やしてまいります。

また、今回サイクルツーリズムといった新たな切り口から都市と農村との交流が深められるよう、7月に太陽の村に「太陽の村冒険遊び場キッズバイクパーク」をオープンします。キッズバイク、マウンテンバイクのコースを利用したレース大会や木育イベントを開催することで、県内外からの親子連れを呼び込み、自然の中で汗をかくことの爽快さをアピールしてまいります。

こうした都市と農村との交流を通じて、地域や里山に新しい動きやにぎわいを創り出すことによって、人が人を呼び込むつながり人口を増やし、都市と農村が共生するまちづくりや地域づくりを進めてまいります。また、柴田町で新たな生業を見つけられるよう、起業家育成支援事業を通じて、事業を始めた方を支援してまいります。

## おわりに

人が集まれば、そこに新たな仕事が生まれ、地域が活性化します。こうした持続的な好循環を形成していくためには、やはり、自治体のイノベーションが欠かせません。

大変革時代を迎えた中で、今後の自治体のあり方や職員の変革を示したのが、総務省の研究会がまとめた「自治体戦略2040構想」です。その柱の一つになっているのが、「スマート自治体」です。高齢者の人口がピークを迎える2040年頃をターゲットに、AIやIoT、ビッグデータを使いこなし、従来半分の職員で自治体の機能を担っていきこうというものです。

役場内においても、新たにRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）

システムを導入して業務の効率化を図り、時間外勤務縮減などの働き方改革や職員数の適正化などに向けて取り組み、「スマート自治体」への転換を図ってまいります。さらに、第5次柴田町情報化計画及び柴田町議会ICT推進基本計画に基づき、タブレット端末を導入し、町民に開かれた議会や今後の本会議でのペーパーレス化の一里塚にしてまいります。

また、一方で、各自治体がフルセットで公共施設を持つのではなく、圏域単位で行政をスタンダードにする「圏域マネジメント論」も提唱されました。その根底にあるのが、少子高齢化や人口減少が進み、日常生活圏の拡大に伴って起こるさまざまな地域課題に対しては、自治体の経営規模の拡大や広域連携による業務の効率化や合理化を図る中で対応すべきだという考え方です。



しかし、日々住民の暮らしに関わっていますと、住民の困りごとや要望は多種多様であり、役所の仕事の大方は、非効率で手間のかかる場合が多いのです。コストパフォーマンスが優先する市場原理だけで割り切れないのが役所の仕事なのです。今後、さらに家庭や地域コミュニティの機能が弱体化していけば、最後に住民のお世話をする役割を担うのは自治体の職員ではないのかと思っています。

経済第一主義、効率主義優先から脱却し、人と人とのつながりや助け合い、ボランティア活動といった目に見えない相互扶助を大切にする社会づくりこそ、2040年問題の解決策ではないかと思っています。自治体は今、未来を切り拓く最前線にあり、また、職員は地域づくりのプロフェッショナルとして、住民の最先端を走らなければならぬ時代ですので、研

修などによって職員の能力やスキルを高め、自治体の仕事のやり方を変えてまいります。これまで以上に、住民、企業、NPO、行政などとの連携を強化し、地域内の資金の循環や再投資を活発にしながら、持続的な好循環の流れをつくり、明るい柴田町の未来を切り拓いてまいります。

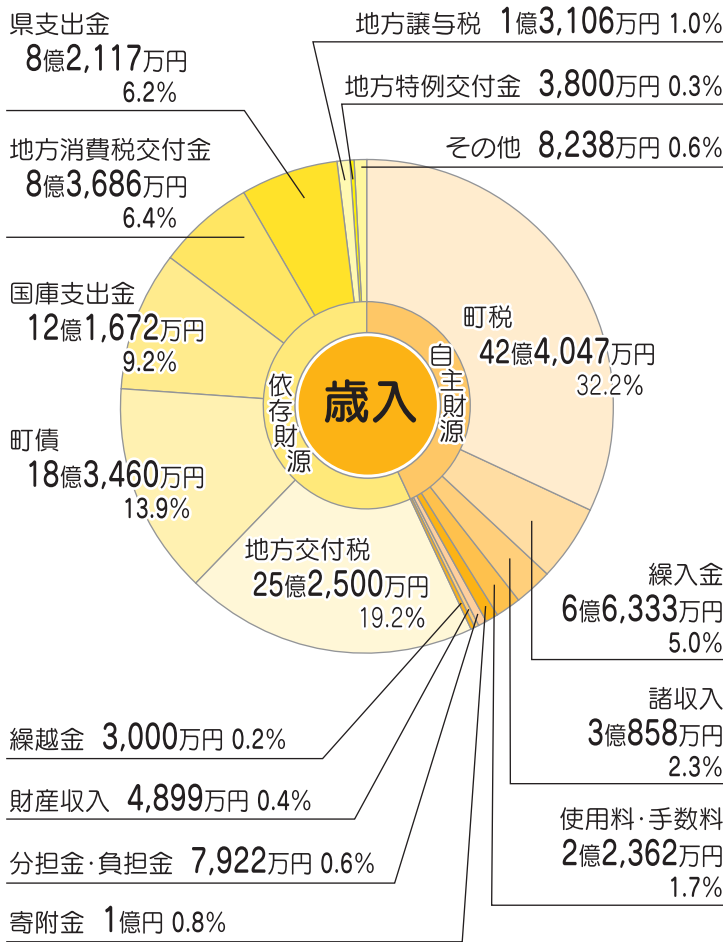
マハトマ・ガンジの言葉ですが「未来は我々が何を為すかにかかっている」これまでの過去は変えることができませんが、未来はこれからの住民の皆さんの選択と行動によって変えることができます。柴田町をさらに飛躍させることができます。

そのためにも、時代の流れを先読みし、政策力に磨きをかけながら、果敢にチャレンジしてまいります。※施政方針の全文は、町ホームページに掲載しています。

問まちづくり政策課

# 令和2年度予算の概要

# 131億8,000万円



令和2年度当初予算が、柴田町議会3月会議で成立しました。一般会計、特別会計、水道事業会計、下水道事業会計を合わせた予算総額は、前年度と比べ4.7%増の232億2,956万円となりました。

一般会計は、老朽化の著しい役場庁舎および保健センターの耐震補強等工事に取り組みほか、会計年度任用職員制度の施行に伴う人件費の膨張を考慮した中での厳しい予算編成となり、前年度比12.4%増の131億8,000万円です。当初予算としては、平成27年度一般会計予算に次ぐ、過去2番目の予算規模となっています。(※千円以下は端数調整しています。)

問 財政課 TEL 55-2278

## 令和2年度予算の内訳

会計区分	令和2年度	対前年度比
予算総額	232億2,956万円	4.7%
一般会計	131億8,000万円	12.4%
特別会計	73億3,448万円	△1.1%
国民健康保険事業特別会計	38億6,502万円	△3.5%
介護保険特別会計	30億1,060万円	1.3%
後期高齢者医療特別会計	4億958万円	5.1%
土地取得特別会計	4,928万円	△0.3%
水道事業会計	12億7,329万円	△9.9%
下水道事業会計	14億4,179万円	△10.9%

※下水道事業は、令和2年度より特別会計から公営企業会計に移行

## 一般会計 歳入の状況

全体の32.2%を占め、自主財源の根幹を成す町税は、42億4,047万円を見込んでいます。

町の財政力に依りて国から交付される地方交付税は、前年度と比べ62,500万円増の25億2,500万円を見込み、全体の19.2%を占めています。

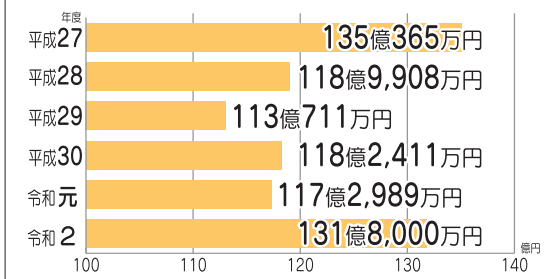
町債は、庁舎・保健センター耐震補強等工事、防災行政無線（デジタル移動系）

整備工事の財源となる緊急防災・減債事業債や地方道路等整備事業債を盛り込むなど、投資的経費が増加したことなどから、前年度と比べ107.7%、9億5,130万円増の18億3,460万円を見込み、全体の13.9%を占めています。

地方消費税交付金は、消費税率が10%となったことなどにより、前年度と比べ1億1,686万円増の8億3,460万円を見込んでいます。



## 一般会計(当初予算)の推移



## 歳出の性質別分類

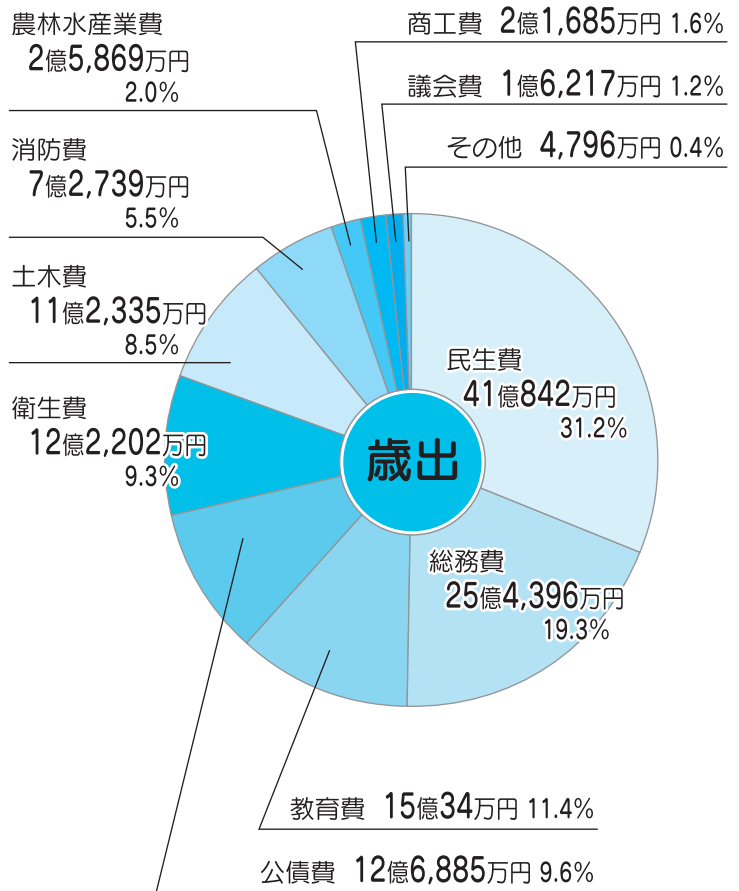
区分	令和2年度	対前年度比
人件費	27億1,684万円	13.8%
補助費等	20億8,368万円	43.4%
物件費	20億5,849万円	△5.1%
扶助費	17億1,841万円	1.5%
投資的経費	16億4,879万円	94.6%
公債費	12億6,885万円	3.3%
繰出金	12億2,469万円	△21.9%
出資金	2億2,677万円	16.5%
積立金	1億657万円	111.0%
貸付金	6,000万円	0.0%
維持補修費	3,691万円	△21.5%
予備費	3,000万円	0.0%
合計	131億8,000万円	12.4%

## 町民一人当たりで見る一般会計予算

(令和2年3月1日現在の人口37,481人で試算)

町民一人当たりの町税負担額	
<b>113,136円</b>	
固定資産税・都市計画税	59,267円
町民税	44,980円
町たばこ税	6,110円
軽自動車税	2,779円
町民一人当たりに使われるお金	
<b>351,645円</b>	
民生費	109,613円
総務費	67,873円
教育費	40,029円
公債費	33,853円
衛生費	32,604円
土木費	29,971円
消防費	19,407円
農林水産業費	6,902円
商工費	5,786円
議会費	4,327円
その他	1,280円

# 令和2年度一般会計予算



## 一般会計 歳出の状況

歳出は、各予算科目に、総合計画に掲げた課題解決と施策目標実現のために要する経費を盛り込みました。土木費は、北船岡地区雨水対策工事、排水ポンプ車購入経費、水防災意識向上マニユアル作成業務委託料などを含む11億2335万円、消防費は、防災行政無線(デジタル移動系)整備工事や柴田町国土強靱化地域計画策定業務委託料など

を含む7億2739万円となり、誰もが安全・安心に住み続けられるまちづくりに取り組むための経費を計上しています。また、割合が最も大きい民生費は、幼児教育・保育の無償化に伴う補助費の増などにより、41億842万円となりました。庁舎・保健センター耐震補強等工事を含む総務費は、前年度から9億3117万円増の25億4396万円となっています。

# さくらが伝えるしばたの春



## 桜が町を彩る春が来る

今年も町が桜色に色づく春がやってきました。山に、川に、公園に、桜の木々はいつもと変わらない美しい姿を見せてくれます。

昨年は、この柴田町の代名詞である桜を見ようと、国内外から27万4千人もの観光客の方に訪れていただきましたが、新型コロナウイルス感染症対策により、平成23年の東日本大震災以来となる「桜まつり」の中止となりました。

来年は、桜と笑顔が満開に咲く春が訪れるように願いを込めて、町内の美しい桜の姿をご覧ください。





## 船岡城址公園

船岡城址公園の桜は、明治40年頃、飯淵七三郎氏により植樹されはじめ、現在、公園内の桜の木は1300本を超えるまでになりました。





# 白石川堤



白石川堤の桜は大正時代に植樹され、船岡から大河原町にかけて約8kmの間に1200本もの桜が並び「一目千本桜」と称されています。



広 告

広 告



## 白石川千桜公園

平成29年3月に完成した「白石川千桜公園」。桜のピンクと、レンギョウの黄色の鮮やかなコントラストを楽しむことができます。



広 告

広 告



# 第31回柴田町スポーツ賞

個人45人・7団体 総数132人を顕彰

2月21日(金)、昨年1月から12月までに、スポーツで顕著な成績を収めた個人、団体を顕彰する「第31回柴田町スポーツ賞表彰式」が、榎木生涯学習センターを会場に開催されました。

顕彰を受けられた方は、次のとおりです。(敬称略・順不同)

問 スポーツ振興課 Tel.87-8706

## 荣誉賞

個人

○体操

南一輝 (仙台大学)

▽2019 FIG 種目別チャレンジカップパリ大会ゆか

第1位

第44回コトブス国際FIG

ワールドカップゆか

第1位

第73回全日本体操種目別選手権男子ゆか 優勝

○陸上

佐々木 琢磨 (仙台大学)

▽第1回世界ろう者屋内陸上競技選手権大会男子60m

第4位

第16回日本聴覚障害者陸上競技選手権大会

男子100m 第1位

▽ヨーロッパカップ 第14位

○ボブスレー

金子 慶輝 (仙台大学)

▽ノーアメリカンカップ第3戦 第9位

団体

○漕艇

仙台大学漕艇部

▽2019アジア選手権大会男子軽量級舵手なしフォア

第3位

第46回全日本大学選手権大会男子舵手なしフォア

優勝

第97回全日本選手権大会男子舵手なしフォア 優勝

○ウエイトリフティング

佐々木 柁 (柴田高等学校)

▽第34回全国高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会男子81kg級 第1位

○漕艇

大石 綾美 (アイリスオーヤマ(株))

▽第11回全日本女子選抜ウエイトリフティング選手権大会76kg級 第1位

薄木 優那 (柴田高等学校)

▽第11回全日本女子選抜ウエイトリフティング選手権大会76kg級 第1位

山平 怜生 (仙台育英学園高等学校)

▽男子第70回全国高等学校駅伝競走大会 第1位(第5区)

○陸上

山平 怜生 (仙台育英学園高等学校)

▽男子第70回全国高等学校駅伝競走大会 第1位(第5区)

▽第97回全日本選手権大会女子シングルスカル 優勝

▽男子第70回全国高等学校駅伝競走大会 第1位(第5区)

▽第97回全日本選手権大会女子シングルスカル 優勝

# 奨励賞

## 個人

### 〇漕艇

大元 英照  
(アイリスオーヤマ株)

西村 光生  
(アイリスオーヤマ株)

青木 翔汰  
(仙台大学)

松田 光平  
(仙台大学)

### 〇体操

松見 一希  
(仙台大学)

山根 直記  
(仙台大学)

〇柔道

対馬 みなみ  
(仙台大学)

廣谷 姫奈  
(仙台大学)

熊田 愛留  
(仙台大学柔道塾)

## 〇ウエイトリフティング

藤沼 優人  
(柴田高等学校)

太田 頼暉  
(柴田高等学校)

瀬戸 櫻子  
(柴田高等学校)

加藤 翔輝  
(柴田高等学校)

森 亮瑛  
(柴田高等学校)

相馬 来輝  
(柴田高等学校)

大内 皓太  
(柴田高等学校)

可沼 千鈴  
(柴田高等学校)

東海林 夢  
(柴田高等学校)

橋本 結衣  
(柴田高等学校)

岸浪 采里  
(柴田高等学校)

高橋 伶  
(柴田高等学校)

加納 遥貴  
(宮城県農業高等学校)

## 〇陸上

三浦 由奈  
(柴田高等学校)

藤野 夢  
(柴田高等学校)

安田 脩人  
(柴田高等学校)

浅見 功輝  
(柴田高等学校)

小野 惟斗  
(柴田高等学校)

葛野 和人  
(柴田高等学校)

若松 由貴奈  
(柴田高等学校)

高橋 海  
(利府高等学校)

齋野 玲美  
(船岡支援学校高等部)

〇スノーボード

清野 春幹  
(槻木小学校)

〇登山

藤原 甲斐  
(白石高等学校)

## 〇剣道

小諸 晴菜  
(柴田高等学校)

小野寺 菜月  
(柴田高等学校)

〇ソフトテニス

原田 優  
(大河原中学校)

谷津 楓  
(大河原中学校)

団体

〇ウエイトリフティング

柴田高等学校ウエイトリフティング部

〇陸上

柴田高等学校陸上競技部

仙台大学陸上競技部

〇体操

仙台大学体操競技部

〇柔道

船岡中学校柔道部

柴田高等学校柔道部



奨励賞受賞  
清野 春幹 君

今回受賞することができて、とてもうれしいです。

スノーボードは、2歳から始めて、4歳から競技として取り組んできました。

冬の平日はナイタートレーニングや、週末は県外での練習をしています。雪のない時期でも、体幹トレーニングを行ったり、イメージトレーニングやメンタルトレーニングも頑張っています。練習は大変ですが、「オリンピックに出場して金メダルを取る」という夢をかなえるため、そして僕の夢を応援してください。これからの努力していきたいです。

2019全日本ジュニアスキー選手権大会スノーボード競技  
スラローム 第2位  
ジャイアントスラローム 第3位

# まちかど NEWS



マスクを着用して行われた卒業式。(船岡中学校)



例年どおり、一人一人に手渡された卒業証書。(槻木中学校)



両親への感謝の気持ちを含めた卒業記念合唱。(船迫中学校)

## 町内の3中学校で卒業式

NEWS

3月7日(土)、船岡、槻木、船迫中学校で卒業式が行われ、合わせて286人の卒業生が、たくさんの思い出の詰まった学びやを旅立ちました。

今年は、新型コロナウイルスの影響で、規模を縮小するなどの感染防止対策が講じられ、例年とは雰囲気の違いが卒業式となりました。

中塩真歩なかしおまほさん(船迫中)は、「少し寂しい卒業式でしたが、みんなと一緒に卒業することができてうれしかったです」と話してくれました。

## 100歳おめでとうございます

NEWS

槻木西1丁目の我妻正男さんが、2月26日(水)に100歳を迎えられました。

とてもお元気な我妻さんは、90歳頃まで現役で電気工事業を営まれていました。引退後は手先が器用な特技を生かした、趣味の竹細工やオリジナルの模型づくりを楽しまれてきたそうです。

ご家族の方も、自由に趣味を楽しむことが長生きの秘訣と話されていました。

いつまでもお元気でいてください。



暖かい日には近所の公園へお散歩にも行かれるそうです。

広 告

広 告





# 健康情報クリップ

なるほど!

みんなの健康ライフ シリーズ66

健康推進課 TEL 55-2160 FAX 55-4172

第66回のテーマは、「がん検診のあれこれ(Q&A)」です。

町では毎年がん検診を実施していますが、みなさんはがん検診を受診していますか。がん検診の目的は、がんを早期発見し、適切な治療を行うことでがんによる死亡を少しでも減らすことです。

がん検診の種類や費用など、がん検診のことを“正しく”知って、“お得に”受診しましょう。

## Q1 どんながん検診がありますか？

町では、死亡を減少させることが科学的に証明された「肺がん」、「胃がん」、「大腸がん」、「乳がん」、「子宮がん」の5つのがん検診を実施しています。それらに加えて、生活の質に大きく影響する「前立腺がん」の検診も実施しています。対象となる方はぜひ検診を受けてください。

## Q2 がん検診を受ける場合の費用(自己負担料)はいくらですか？

検診費用(自己負担料)は、町からの費用助成があるため、おおむね300円～2,600円程度になります(検診の種類によって異なります)。町のがん検診は“お得に”受けられる検診です。

## Q3 がん検診を受けるのが面倒です。毎年受けた方がよいですか？

症状がない人ほど早期がんを発見しやすく、早期治療が可能です。そのためには1～2年ごとにがん検診を受ける必要があります。なお、精密検査該当となった場合は、必ず受診して結果を確認してください。忙しさを理由に、精密検査を先延ばしにする方もいますが、自分の健康を守るためになるべく早く受診しましょう。

## Q4 もしがん治療が必要になったら、いろいろと相談できる場所はありますか？

がんに関する不安や悩み、治療、療養生活全般については、「宮城県がん総合支援センター」に、誰でも相談ができます。また、町ではがん治療に伴って購入した医療用ウィッグ・乳房補正具(1年以内に購入したもの)について、購入費用を助成しています。詳しくは町ホームページをご確認ください。

宮城県がん総合支援センター Tel.022-263-1560

## 令和2年度 柴田町がん検診スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
がん検診の種類	胃									
			子宮							
				大腸・前立腺						
					肺					
										乳

〈対象者〉※年齢は令和3年4月1日現在

- 胃：40歳以上
- 子宮(女性)：20歳以上
- 大腸：40歳以上
- 前立腺(男性)：50～79歳
- 肺：40歳以上
- 乳(女性)：30～39歳、40歳以上の奇数年齢

※令和2年度がん検診の申込みをされた方には、各検診の実施前に受診票をお送りします。申込みをされていない方は追加申込みも可能です。期間内に忘れずにがん検診を受けましょう。

広 告

広 告

# 新たな農業委員と 農地利用最適化推進委員が決定しました

農業委員と農地利用最適化推進委員の任期満了（令和2年2月29日）に伴い、新しい農業委員9人と農地利用最適化推進委員9人が決まりました。

農業委員は、町長が議会の同意を得て任命し、農地を守り農地の有効利用を促進することで、農地法等の賃借、売買、転用などの審議を総会で行います。農地利用最適化推進委員は、農業委員会が委嘱し、農地利用状況調査、耕作放棄地の発生防止と解消、担い手への農地の斡旋と集積などを農業委員と協力し行います。

3月2日（月）に開催された初総会において、会長に岩間良隆さん、会長職務代理者に根元俊一さんが選出されました。

任期は令和2年3月1日から令和5年2月28日までの3年間です。農地の保全や利用、転用などについて、担当地区の農業委員または農地利用最適化推進委員にお気軽にご相談ください。

## 農地利用最適化推進委員

槻木・四日市場地区



よした しょういち  
吉田 正一

中名生・下名生地区



かさまつ ひろみ  
笠松 浩見

船岡・新田・上名生地区



かとう しんいち  
加藤 信一

## 農業委員

上川名地区



かとう いちろう  
加藤 一郎

船岡・新田・上名生地区



会長職務代理者  
ねもと しゅんいち  
根元 俊一

成田・小成田・海老穴地区



会長  
いわま よしたか  
岩間 良隆

入間田地区



むらかみ のぶろう  
村上 信郎

富沢地区



やました としお  
山下 利一

上川名地区



ひらま しゅういち  
平間 秀市

中名生・下名生地区



かも とみえ  
加茂 富枝

船迫・本船迫地区



せき てつや  
関 哲也

富沢地区



くさか よしのり  
日下 好則

船迫・本船迫地区



いわま しゅんいち  
岩間 俊一

成田・小成田・海老穴地区



ひらま まこと  
平間 誠

葉坂地区



あおやぎ しゅういち  
青柳 秀一

葉坂地区



せい の れいこ  
青野 礼子

槻木・四日市場地区



わたなべ まさよし  
渡邊 政芳

入間田地区



さとう たけし  
佐藤 健



こうほう 文芸

俳句

野良仕事耕す姿彼方此方に

槻木

平間 三郎

きさらぎや風をつめたき義姉しぬる

船岡

可沼 妙子

雪いだき泰然とおわす蔵王山

四日市場

鳥井崎七老

まんさくや雨のレンズで開花知る

西船迫

安ヶ平奈津枝

花咲けど足音わずか寒古道

船岡

安藤 節子

傘寿といふ無事に日記の終りけり

西船迫

佐藤 厚子

ひびわれの義母の踵や麦を踏む

中野西範子

犬ふぐり映して流れ用水路

石垣テル子

春立てり富士の光と退院す

制野 千秋

暮尻の怒濤の賜杯春近し

遊佐 徹

名も知らぬ鳥啄めり雪の朝

山家美智子

早春の海を彼方に蕃山路

三塚 直樹

語らねど心寄り添い桜餅

及川美沙子

木枯と戯る葉山右に左に

若月ノリ子

あの冬の雲のあたりで父と逢ふ

大久保和子

瞬けばまぶたに溢る春の潮

浪山 克彦

川柳

福寿草ひっそり顔出し春告げに

槻木

村上 紫寿

春風が雛の袂をそつとなで

西船迫

H・G

最近の軽い散歩もためになる

西船迫

安ヶ平良三

酢大根カリカリかんで顎運動

船岡

阿部美代子

箱の中三人官女の笑い声

槻木

加藤 マサ

孫さけぶコロナ休みは飛んで行け

船岡

小林 夢子

短歌

白雪の富士の頂くつきりと

志木のホテルの窓の彼方に

船岡

可沼 妙子

寿命伸び100まで生きるもめでたいが

自然を望み家族に伝へ

西船迫

下浦 智子

一兵卒恐怖をくぐり賜った

父の戒名「平穩」道然居士

四日市場

鳥井崎七老

コロナより学校止まり社会も

西船迫

安ヶ平良三

年長の孫とあれこれ糸でんわ

「ピアノと泳ぎ」かんばるんだと

本船迫

森田 眞六

時雨間のスーパ―帰り青空に

冬虹見えしベタルを止めて

船岡

伊藤タイ子

今出会いし人々は皆善き人なり

日々快く穏やかに過ぎ

船岡

沢田 順子

俳句・川柳・短歌に興味があり、こうほう文芸に載せたい方は、はがきなどで4月10日(金)までご応募ください。 〇まちづくり政策課 ☎54-2111

Advertisement box with the characters '告 告' (Notice) in the center.

Advertisement box with the characters '告 告' (Notice) in the center.

Advertisement for 'Shibata Town Face Book' (柴田町フェイスブック) with a QR code and contact information: https://www.facebook.com/town.shibata, 町の景色やイベントなどを紹介!, 〇まちづくり政策課 Tel.54-2111.

Advertisement box with the characters '告 告' (Notice) in the center.

# 長く使い続けられるように 丁寧な仕事を心掛けています

笠松電気株式会社

角田<sup>つのだ</sup>康紀<sup>やすのり</sup>さん（37歳）

今回は、建物の一般的な電気設備から太陽光発電設備、火災報知設備など、特殊な電気設備まで幅広く設計、施工、工事管理を行う笠松電気株式会社の角田康紀さんを紹介します。



笠松電気に入社し、7年目の角田さん。現在、会社の中では、年齢、経験年数共に一番若い社員になります。入社する前は工場に勤めていましたが、長く続ける中で、何か手に職をつけたほうが良いと思い、全く経験の無かった電気関係の業界に飛び込みました。

転職の際に、職業訓練所で電気工事の勉強をしてから入社しましたが、しばらくの間は先輩に指導いただきながら仕事を覚えて、5年目ぐらいから少しずつ仕事を任せられるようになってきました。

もあるため、できるだけ授業に影響が出ないように注意しながら施工してきました。また、子どもたちが現場に近づいてケガをしないように、安全面への配慮も怠ることはできません」と話します。

仕事への思いを伺うと、「気を付けているのは、仕上がりがきれいに見えることと、学校であれば配管などを子どもたちに引っかけたりする場所を通さないことなどで、見た目、安全面の両面から敷設場所を考えています」と話してくれました。

最近では、公共施設の太陽光設備設置工事や、町内小中学校のエアコン設置工事などの規模の大きな工事にも携わり、「学校へのエアコン取付工事では、屋外から分電盤へ電源を引き込み、各教室へ配電するところまでが私の仕事です。工事をしている時間帯は、子どもたちが授業を受けている時間になります。工事で大きな音が出ること

今後の目標について、「今は職長という職人をまとめる役割も任せられるようになりたいです。その期待に応えたいと思っています。また、私たちの仕事は目に見える形で残るものなので、後から見たときに恥ずかしくないように丁寧な仕事をしたい」と話してくれました。これからも頑張ってください。



電源ケーブルの結線を行う角田さん



笠松電気株式会社  
柴田町船岡東4丁目6番18号  
TEL54-2333

昭和40年創業。民間事業所や公共施設などの電気設備の設計、施工、管理を手掛ける。  
従業員9人

人口と世帯数  
(令和2年3月1日現在)



37,481人  
(前月比81人減)



18,679人  
(前月比50人減)



18,802人  
(前月比31人減)



15,793世帯  
(前月比26世帯減)

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。